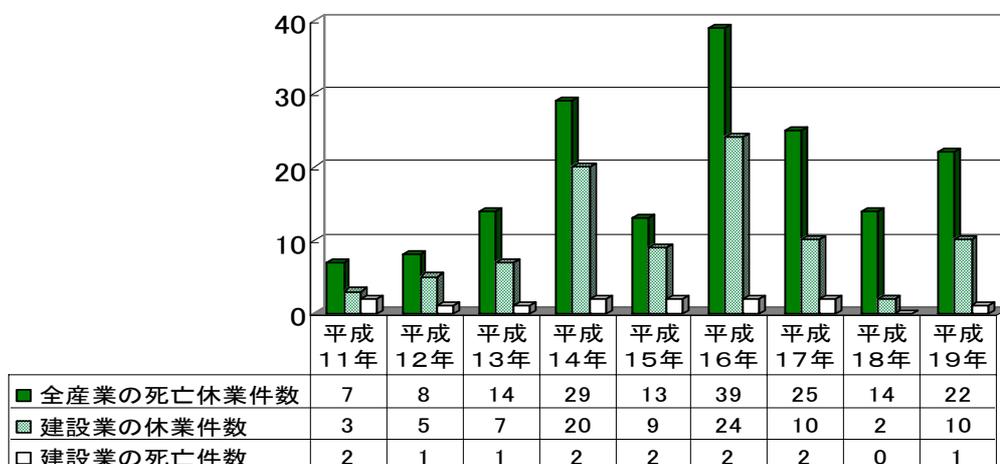


東京労働局管内の熱中症の発生状況

年別件数



平成19年に発生した熱中症の発生事例

発生日 時間	業種	発生状況	作業の内容	発生時気温 (最高気温)	被災程度
8月4日 14時10分	その他の 建設工事業	既存ビルでシート防水端末のシーリングの施工中、休憩のため座り込んだ後、眼の焦点が定まらず、心肺停止状態になり、病院に搬送されたものの、死亡した。	ビル屋上防水 工事	35.5 (36.0)	死亡
8月16日 13時30分	その他の 廃棄物処 理業	地下タンクの清掃・検査作業を猛暑の中で実施していたところ、気分が悪くなり、帰宅したところ嘔吐をしたので救急車を呼び病院に搬送され、熱中症と診断された。	タンクの清 掃・検査作業	37.1 (37.7)	休業10日
8月16日13 時30分	一般飲食 店	仕事が終了し、更衣室で着替えた後気分が悪くなり椅子に・になり体を休めていたが良くならないので、救急車で病院に搬送し熱中症と診断された。	そば屋厨房内 作業	34.3 (34.3)	休業7日
8月17日14 時30分	S・RC 造家屋建 築工事業	1階外構部の左官作業準備中、1階エントランス付近に道具を取りに行く途中で倒れ、熱中症と診断された。	外構部の左官 準備作業	34.5 (34.5)	休業14日
8月17日15 時10分	S・RC 造家屋建 築工事業	午後から詰所内部にあった鉄筋結束線の箱(20キロ)を外コンテナに移動する作業を行っていたところ、14時30分頃になって気分が優れず、冷房の効いた詰所で休んでいたが、さらに具合が悪くなり救急車で病院に搬送し熱中症と診断された。	鉄筋結束線の 移動作業	36.3 (36.4)	脱水症状後 の脳梗塞 休業6月
8月17日17 時00分	警備業	マンション建設現場にて交通誘導の警備業務を行っていたところ、昼過ぎになって手が震えだし、痺れて痙攣を起し病院に行ったところ、熱中症と診断された。	建設現場の交 通誘導警備作 業	32.9 (36.4)	休業1月
8月21日17 時00分	S・RC 造家屋建 築工事業	生コン圧送作業を行い、午前10時の休憩中に気分が悪くなり、筋肉がこわばって顔が青ざめたため病院に搬送し、熱中症と診断された。	生コン圧送作 業	33.1 (36.2)	休業7日
8月21日18 時00分	S・RC 造家屋建 築工事業	高層マンションの屋上で現場施工管理業務終了後、めまい、吐き気がして顔色も悪くなったので、病院に行ったところ熱中症と診断された。	建築施工管理	31.9 (33.6)	休業17日

気温は発生場所近辺の気象庁観測データです。